



Career

筑波大学大学院 人間総合科学研究科 生涯発達専攻カウンセリングコース

キャリア・プロフェッショナル養成講座

Professional

プログラムの詳細

趣旨

本プログラムは、平成29年度「教育戦略推進プロジェクト支援事業」として採択された優良プログラムを基にした、社会で活躍しているキャリア支援者を対象とする講座です。この講座は、キャリア支援領域において指導者が習得すべき知識、知見を、心理学および周辺領域の観点から、体系的に学ぶことができる大学院レベルの最新で高品質なカリキュラム構成となっています。

企業・大学・需給調整機関等において、指導的立場で活躍することができる実践力を有した「キャリア支援領域における指導者レベルの人材」を養成・強化します。

本講座で考える「キャリア・プロフェッショナル」像は、以下の通りです。

- 第一線級のキャリア支援者であり、キャリアコンサルタントを育成・指導できる人材
- 「人(個人)」と「組織」および「社会」に精通し、それぞれにアプローチできる人材
- 指導者としての豊かな人間性と品格を備えた人材

カリキュラムの概要

20日間通学／8領域 約130時間(詳細次頁)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1 キャリア・プロフェッショナルとしての在り方 | 5 キャリア開発と組織開発に関する領域 |
| 2 キャリアコンサルティングに必要な理論と実践 | 6 職場における心の健康に関する領域 |
| 3 生涯発達に関する領域 | 7 労働・雇用に関する領域 |
| 4 社会行動や人間関係に関する領域 | 8 実践的研究に関する基礎知識 |

カリキュラムの特長

キャリア支援の指導者が修得すべき知識・知見を心理学の観点から周辺領域まで広げ、体系的に学ぶカリキュラム構成です。

専門家による研究知見や最新情報を元にした講義と、実践的な演習や討議を組み合わせた内容です。

実践現場への活用をイメージし、主体的に学んでいただくことを期待しています。

統括コーディネーター

岡田 昌 毅 筑波大学人間系教授

筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻カウンセリングコース、博士(心理学)

「キャリア・プロフェッショナル養成講座」基本構成 約130時間

※一部変更になる場合があります

※日程調整の都合により、科目番号順の実施とならない日があります。

1コマは75分

回	テーマ	科目タイトル	想定 コマ数	想定担当講師（敬称略）
1	初回オリエンテーション①		1	コーディネーター(筑波大学研究員：高橋南海子、原恵子)
	1.キャリア・プロフェッショナルとしての在り方	1-①キャリア・プロフェッショナルとしての在り方	1	渡辺三枝子(筑波大学名誉教授)
		1-② キャリア・プロフェッショナルへの期待	1	石隈利紀(東京成徳大学教授、筑波大学前副学長・名誉教授)
			1	田上不二夫(東京福祉大学教授、筑波大学名誉教授) 他
			1	小玉正博(埼玉学園大学教授、筑波大学名誉教授)
	初回オリエンテーション②		1	コーディネーター
2	1.キャリア・プロフェッショナルとしての在り方	1-③キャリア支援者の職業的発達	2	原恵子(筑波大学研究員)
		2.キャリアコンサルティングに必要な理論と実践	2-①キャリア心理学	4
2-②ヘルピング	2		藤生英行(筑波大学教授)	
2-③グループプロセス	4		飯田順子(筑波大学准教授)	
2-④システミックアプローチ	4		田附あえか(筑波大学助教)	
5	2-⑥認知行動療法の基礎		6	沢宮容子(筑波大学教授)・加濃正人(寛容と連携の日本動機付け面接学会代表、新中川病院医師)
		6	2-⑥アセスメントとケースの概念化	4
	リフレクション①		1	コーディネーター
7	3.生涯発達に関する領域	3-①発達心理学概論	3	安藤智子(筑波大学教授)
		3-②教育心理学概論	3	外山美樹(筑波大学准教授)
3-③大学生や若年就業者の心理と課題		2	道谷里英(順天堂大学准教授)	
8		3-④女性の心理と課題	2	坂爪洋美(法政大学教授)
		3-⑤中高齢者の心理と課題	2	大川一郎(筑波大学教授)
9		3-⑥特別な配慮が必要な人たちへの支援 1:貧困や社会福祉	2	関谷大輝(東京成徳大学准教授)
	3-⑦ 2:職場における合理的配慮	2	八重田淳(筑波大学准教授)	
	3-⑧ 3:発達障がい	2	鈴木俊介(大塚病院児童精神科部長)	

回	テーマ	科目タイトル	想定コマ数	想定担当講師（敬称略）
10	4.人間関係や社会行動に関する領域	4-①惨事ストレスと悲嘆の心理	3	松井豊（筑波大学教授）
		4-②組織における人間関係	2	藤 桂（筑波大学准教授）
		4-③脳の働きと社会行動	2	小川園子（筑波大学教授）
11	リフレクション②		2	コーディネーター
12	5.キャリア開発と組織開発に関する領域	5-①リーダーシップ概論	2	岡田昌毅（筑波大学教授）
		5-②産業・組織心理学概論	4	角山剛（東京未来大学教授）
5-③人的資源管理概論		4	今野浩一郎(学習院大学名誉教授)	
13		5-④組織開発概論	2	吉武博通(首都大学東京理事、お茶の水女子大学監事、筑波大学元副学長・名誉教授)
		5-⑤人的資源管理と経営	1	御手洗尚樹（元日立製作所執行役常務、前日立ハイテクノロジーズ副社長）
14		5-⑥企業における先進事例	1	水野みち（日本マンパワーソリューション企画部グループ専門部長）
	6.職場における心の健康に関する領域	6-①働く人のメンタルヘルス	4	大塚泰正（筑波大学准教授）
6-②アディクションと支援		2	原田隆之（筑波大学教授）	
15		6-③心身医学	3	村上正人(国際医療福祉大学教授、山王病院心療内科部長)
		6-④ポジティブ心理学	2	小玉正博（埼玉学園大学教授、筑波大学名誉教授）
16	リフレクション③		1	コーディネーター
17	7.労働・雇用に関する領域	7-①労働関連法規	2	石井清香（石井清香事務所所長；特定社会保険労務士）
		7-②ファイナンシャル・プラン	3	氏家祥美（ハートマネー代表；ファイナンシャルプランナー）
7-③労働政策・社会政策		1	奥津真理(元独立行政法人労働政策研究・研修機構特任研究員)	
7-④現代の労働課題1:就職支援現場での現状		1		
18		7-⑤現代の労働課題2:マイノリティの雇用やダイバーシティ	1	梅田恵（日本アイ・ピー・エム 人事.ダイバーシティ企画担当部長）
		7-⑥-A 現代の労働課題3: 治療と仕事の両立	1	平岡晃（コマツ 産業医、国立がん研究センター 外来研究員）
7-⑥-B 現代の労働課題3: 治療と仕事の両立		1	砂川未夏（がんセンター・キャリア代表、JCDA 治療と仕事の両立支援促進プロジェクトリーダー）	
7-⑦現代の労働課題4:子育てと仕事の両立		1	宮崎真理子（認定NPO法人フローレンス ディレクター）	
19	8.実践的研究に関する基礎知識	8-①心理学研究法(質的研究の基礎)	2	濱口佳和（筑波大学教授）
		8-②心理学研究法(量的研究の基礎)	2	藤 桂（筑波大学准教授）
	総括		2	コーディネーター

Career キャリア・プロフェッショナル養成講座 Professional

講座イメージ（本プログラム試行実施時の風景です）



初日のオリエンテーション
（統括コーディネーター 筑波大学教授 岡田昌毅）



「キャリア・プロフェッショナルとしての在り方」
（筑波大学名誉教授 渡辺三枝子先生）



「システミック・アプローチ」ワーク



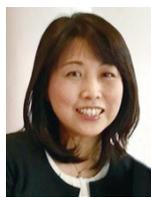
「グループプロセス」ワーク

受講者の声（試行実施時参加者）



窪田 みち代 さん
企業向け
キャリアコンサルタント

企業で働くカウンセラーは個人と組織の両方に働きかける事が求められます。個人が訴えている事や組織課題の背景を理解するために、この講座は大変役に立ちました。また、女性のキャリア・介護・メンタルヘルス等、現場で必要とするタイムリーな内容も扱われます。様々な事柄について、教授と受講者が真剣に意見を交わす中で、多くの視点を獲得することが出来、現場で活用しています。素晴らしい教授陣と学ぶ仲間恵まれ、毎回ワクワクしながら参加しています。



野条 美貴 さん
大学講師

キャリア教育に携わる中で、自分の専門性を高めていくことが、カウンセリングの質をあげ、学生さんにとってのより有意義な支援に結び付くと考えています。この講座では、心理学的な観点で、それぞれの専門の先生方から、短時間に内容の濃い熱のこもった講義を受講することができます。そのため、様々な視座をもつことができ、また自分が依って立つ理論は何かを見つけ、これから深く学んでいきたい分野を知ることができました。



寺山 昇 さん
需給調整行政機関勤務

国の「働き方改革」の下でも「キャリア支援・人材育成」が重要な柱の1つになっています。今回の受講で、キャリア支援者の成長をどう促すかをキャリアコンサルティング、労働・雇用、メンタルヘルスなど幅広い領域の理論や技法、最新の知識を統合的に学べました。これを機に行政職員の相談スキルの質的向上・拡がりにも寄与していきたいと思っています。